

光を北方から

令和4年度学校だより第1号

<発行責任者>

北海道旭川盲学校

校長 宮岸 尚平

令和4年4月28日

100年の歴史と伝統を受け継ぎ、魅力あふれる新しい旭川盲学校の創造へ

北海道旭川盲学校長 宮岸 尚平

桜前線が例年より早く到着し、旭川でも桜の花が咲いているのを見かけるようになり、すっかり春を感じられるようになりました。今年度は小学部に1名と中学部に1名の2名の新入生を迎え、幼児児童生徒9名でのスタートになります。幼児児童生徒数が1桁になってしまい、少し寂しい感じはしますが、毎日、子どもたちの元気な声が聞こえることを大変うれしく思います。

新学期が始まり、初めての学校生活や新しい先生との勉強などに戸惑う場面も見られましたが、数週間が経過し、子どもたちはすっかり自分のペースをつかみ、毎日の学習や寄宿舎での生活に取り組む様子が見られるようになりました。環境の変化は子どもたちにとって成長の節目であるとともに、心身への負担も大きくなりますので、全ての教職員が子どもたちに寄り添いながら指導や支援に当たっていくことが大切だと考えています。

さて、本校は今年度、創立100周年を迎えます。「鹿児島慈恵盲啞学校」（現鹿児島盲学校、鹿児島聾学校）を創立しました南雲総次郎先生が、「旭川には盲啞教育の機関あらざれば、もし学校設立を見なば、薄幸の福音いかばかりならん」という熱い思いのもと大正11年に私立「旭川盲啞学校」として開校し100年の節目の年となります。南雲先生の高い志と先達の方々の視覚障害教育にかけてきた熱い思いをしっかりと受け継いでいかなければという責任の重さを改めて感じているところです。

また、創立100周年を迎えるに当たり、学校教育目標を20年ぶりに改訂しています。新しい学校教育目標は

「自ら学び、考えを深め広げ、自らの人生を切り拓いていく子どもを育てます」

としました。新しい学校教育目標には、子どもたちが主体的に学びに向かい、対話や議論を通じて自分の考えを広げ深めたり、他者への思いやりをもって多様な人々と協働したりしていくことができるようになってもらいたい。そして、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに、自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り拓いていくことができる人になってもらいたいという思いを込めています。

新しい学校教育目標のもと、これまで100年の歴史の中で培われてきた歴史と伝統、そして視覚障害教育に関する専門性を維持・向上するとともに、GIGAスクール構想の進展に伴うICTを活用した教育活動の推進など、教職員一丸となって新しい旭川盲学校を創造していきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症につきましては収束する様子は見られず、まだまだ予断の許さない状況です。このような中での教育活動になりますが、教職員が一丸となり「Post コロナ/With コロナ」を見据えた学びの実現と持続可能な魅力あふれる学校づくりに向けた新たな取り組みを積極的に推進してまいりますので、今後とも本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度入学式

今年度は小学部1年生1名と中学部1年生1名を迎え、4月8日(金)に実施しました。外部からの来校者をお招きすることはできませんでしたが、新入生と在校生の保護者の皆様にたくさんの拍手をもらい、温かな雰囲気の中行うことができました。新入生は在校生からの歓迎の言葉や録音した歌声をもらい、旭川盲学校の学校生活をより一層楽しみにしてくれたのではないかと思います。新入生も進級した在校生も、皆さん早く新しい環境に慣れて楽しい学校生活を送ってほしいと思います。



新入生2名が並んであいさつ

幼稚部

今年度の幼稚部は、年長(5歳児)ぱんだぐみとしてスタートしました。在籍は、体を動かすことと工作が大好きな男の子です。登園バッグをかっこよく背負って登下校する姿がとてがかっこいいです!年長クラスということで、身の回りのことや日付・お天気カードのお仕事など新しいことにもチャレンジしています。幼稚部では、屋内屋外でたくさん体を動かしたり、工作・音楽・自然遊びなどを通して様々なものに触れたりしながら豊かな心と元気な体を育てていきたいと思っています。



幼稚部の壁面前で進級の記念写真

小学部

今年度の小学部は、1年生1名、3年生1名の2名で新年度をスタートしました。1年生は初めての学校生活に、どきどきの毎日だと思えますが、少しずつ新しい場所や先生達に慣れ、体をいっぱい使って活動しています。3年生は学級に仲間が増え、とてもうれしそうです。学級活動で取り組んだボウリング大会では、大盛り上がりでした。学級通信の名前「てとと」のように、学級の2人が手を取り合うように仲良く、そして他の学級のみんなとの交流も大切に、活動に取り組んでいきたいと思っています。



朝の会で3年生が1年生にタッチして、おはようのあいさつをしているところ

中学部

今年度の中学部は新入生を迎え、総勢6名となりました。A組は男子生徒1名の学級です。入学当初から中学生としての自覚が芽生え、新しい先生や仲間たちとともに、集団での学習に頑張っており取り組んでいます。B組の3名も進級した喜びを学習に向け、「やればできる」という目標を掲げ、元気に過ごしています。昨年度は4名だったC組は2名となりました。寂しくなった気持ちもつかの間、今年度は時間を意識して行動することを目標に、毎日の学習に根気強く取り組んでいます。今年度は、この6名で協働し、いろいろな行事や学習活動を盛り上げていきたいと思っています。



入学式会場で、中学部の生徒全員で記念撮影

転入のご挨拶

令和4年4月1日付けにて本校に着任した教職員の挨拶です。

加藤 純一 教諭

美咲養護学校より赴任しました。加藤と申します。盲学校での勤務は初めてとなります。学び続ける姿勢で頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

三沢 千幸 教諭

この度、北見支援学校より旭川盲学校に着任いたしました三沢千幸と申します。7年ほど産休、育休でお休みをいただいております。久々の職場復帰です。そして初めての盲学校。ご迷惑をかけることも多々あるかと思いますが、自分にできることを精一杯努めていきたいと思っております。

子どもたちは毎朝、元気にあいさつをしてくれます。子どもたちの笑顔に私も元気をもらっています。早く盲学校にも慣れて自分らしさを発揮できればと思います。

どうぞ、よろしくお願い致します。

久守 勝武 教諭

帯広盲学校から赴任しました、久守勝武（ひさもりしょうぶ）です。今年度は主に、中学部で数学と職家の学習を生徒達と一緒にしていきます。旭川は帯広の何倍も都会で、おいしいご飯屋さんやスイーツがたくさんあるんだろうな、と非常に楽しみにしてきました。是非みなさんのおすすめを教えてください！旭川盲学校の子どものために一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

山中 千明 教諭

鷹栖養護学校から赴任しました、山中千明です。一日も早く学校に慣れ、幼小学部、中学部の皆さんと仲良くなりたいと思っております。よろしくお願い致します。

貫田 紗知 教諭

東川養護学校から赴任しました、小学部の貫田紗知（ぬきたさち）です。旭川盲学校の幼児児童生徒の皆さんは元気いっぱい、朝の登校の声を聞くと毎日元気をもらえます。皆さんに早く顔や声を覚えてもらって、色々な活動を一緒にするのが楽しみです。どうぞよろしくお願い致します。

細田 浩子 専門寄宿舎指導員

東川養護学校より赴任しました細田浩子です。明るく元気な子どもたちに迎えられ、旭川盲学校での勤務をスタートさせることができました。盲学校での勤務は初めてなので、至らないこともあるかと思いますが、子どもたちと一緒に考え、学び、ともに成長していきたいと思っています。いろいろと制限の多い日々が続いていますが、子どもたちが安心して笑顔で寄宿舎生活を送ることができるよう努めていきます。どうぞ、よろしくお願い致します。

木下 博文 寄宿舎指導員

この度、雨竜高等養護学校から参りました寄宿舎指導員の木下博文です。雨竜での生徒の規模と動きが全然違いますが、少人数ならではの活動を通し子どもたちと楽しい時間を過ごすことを楽しみにしています。いろいろご迷惑をおかけするかと思いますが、一日でも早くみなさんの名前を覚えて精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

樋口 淳子 専門主任主事

美深高等養護学校あいべつ校から異動してきました樋口です。幼児児童・生徒みなさまのために一生懸命がんばりますのでどうぞよろしくお願い致します。

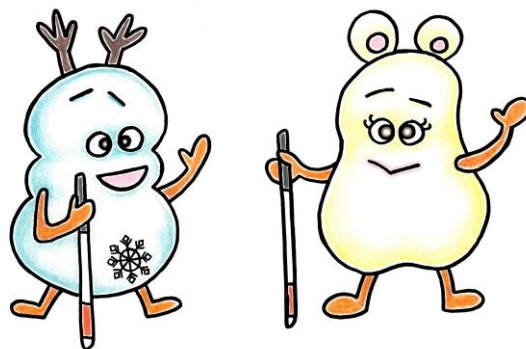
佐藤 和樹 事務職員

こんにちは！私の名前は佐藤和樹です。今年度から旭川盲学校で事務職員として働くことになりました。以前の勤務先は札幌にある新陽高校という学校で、体育の教員をしていました。その際に職場で倒れ、視覚障害になりました。教員と事務職員では、仕事内容が全然違うので、みなさんにご迷惑をお掛けすると思いますが、全力で頑張ります。また、私自身もみなさんと一緒に学んで成長できたらと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します！

旭川盲学校創立 100 周年記念ロゴマークとキャラクターが決定しました

本校は今年度創立 100 周年を迎え、記念式典を 10 月 29 日(土)に予定しています。100 周年を迎えるにあたり、昨年度在籍の幼児児童生徒から 100 周年記念ロゴマークとキャラクターを募集しました。ロゴマークは現中学部 2 年生の鎌田久沙樹さんのデザインが、キャラクターは現幼稚部年長山中大士君デザインの「きょくディアー」と現小学部 3 年生武田唯花さんデザインの「きょくもっちー」が選ばれました。今後、様々な場所で活躍してくれる予定です。

記念ロゴマークデザイン



きょくディアー と きょくもっちー

子ども相談支援センターのメールアドレスが変わりました。

sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

右のアドレスは 5 月 9 日(月)で使用できなくなります。上記のアドレスをご利用ください。電話相談の番号は変わりません。

今年度 4 月より学校ホームページをリニューアルし、レイアウトや内容を変更しました。今後もさらに充実していく予定です。本校のホームページをご覧ください、ご感想やご意見をいただければと思います。

また、これまで本校では「学校だより」「学校通信」を毎月発行しておりましたが、今年度より名称を「学校だより」に統一し、年 4 回の発行といたします。これまで「学校だより」「学校通信」でお知らせしていた内容の一部を、今後は学校ホームページにてお知らせしていく予定です。

旭川盲学校ホームページアドレス

<http://www.kyokumo.hokkaido-c.ed.jp/>

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

☎ 0120-3882-56
(無料、毎日 24 時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談

(10~16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)
子ども相談支援センター
札幌市中央区北 3 条西 7 丁目道庁別館 8 階
※上記の電話相談で予約してください。

※センターの Web ページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次の URL からご覧ください。

URL:<http://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/bk/ssa/soudanjirei.pdf>